

WHO ファクトシート

緊急避妊

Emergency contraception

2017年6月

重要な事実

- ・性交渉後5日以内の緊急避妊(EC)により、妊娠の95%以上を防ぐことができる。
- ・ECは、避妊手段をとらない性交渉、避妊の失敗可能性が疑われる場合、避妊器具や薬の誤使用、及び避妊手段が取れていない状態での性的暴行などの状況で使用することができる。
- ・緊急避妊の方法には、銅含有の子宮内避妊具(IUDs)と緊急避妊薬(ECPs)がある。
- ・銅含有のIUDは緊急避妊として最も効果的である。
- ・WHO推奨の緊急避妊薬の処方は、ウリプリスタル・アセテート、レボノルゲストレル、またはエチニールエストラジオールとレボノルゲストレルの混合経口避妊薬(COCs)である。

© World Health Organization

この文章は、日本WHO協会がWHOのメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014年3月にWHO本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含めWHOホームページでの原文をご確認ください。

Emergency contraception

ファクトシート原文は [こちら](#)